

## 浅間山周辺の地殻変動\*

### Crustal Deformations around Asama Volcano

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図～第2図は、浅間山周辺のGPS連続観測結果である。浅間山をまたぐ位置関係にある嬭恋と東部間の基線(第2図1段目、第1図中①で位置を示す)は、短縮と停滞を繰り返しており、相対的に伸張する時期と浅間山の地震活動の活発化する時期との間には、相関があることが知られている。最近では2003年7月頃から短縮が続いていたように見えていたが、2004年4月頃から伸びに転じ、9月1日の噴火を迎えた。その後一時的に停滞したものの、10月頃からまた伸び始めている。両図に示すように他の基線も伸びており、浅間山山体が膨張していると考えられる。

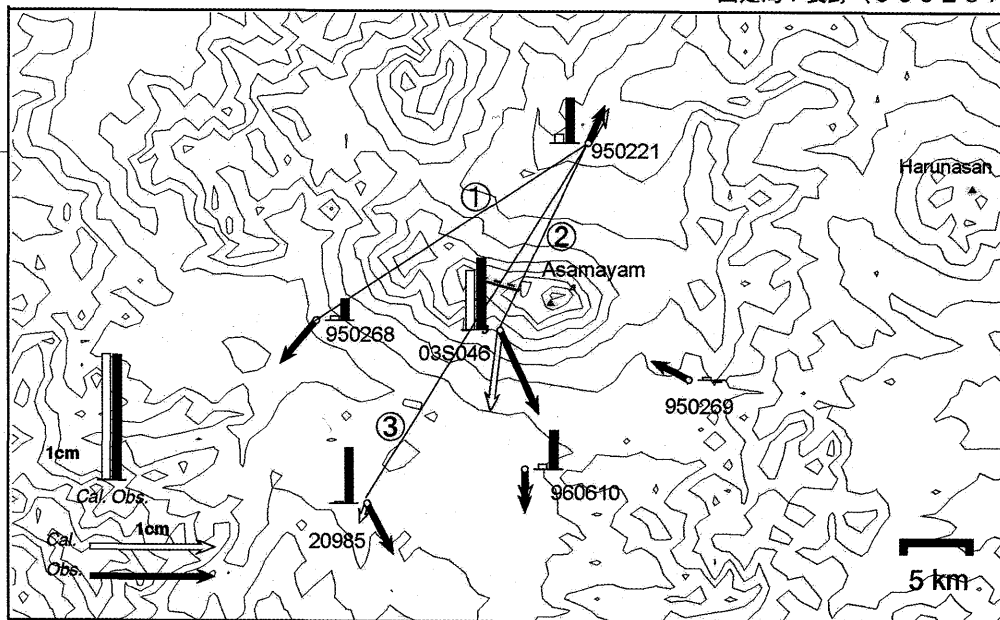
最近約半年間(2004/11-2005/04)の地殻変動の力源を推定した結果を第1図に示す。これまでと同様、山頂火口のやや西、黒斑山付近の地下(海拔下約1km)に位置する、ほぼ垂直のダイク性の力源が開いたことが示唆される。関与したマグマの量は、約2～3百万m<sup>3</sup>である。第2図からわかるように、2005年4月現在も、浅間山の膨張は継続しており、マグマの供給が止まっていないことを示唆している。

---

\* Received 28 April, 2005

# 浅間山ダイクモデル(2004/11-2005/04)

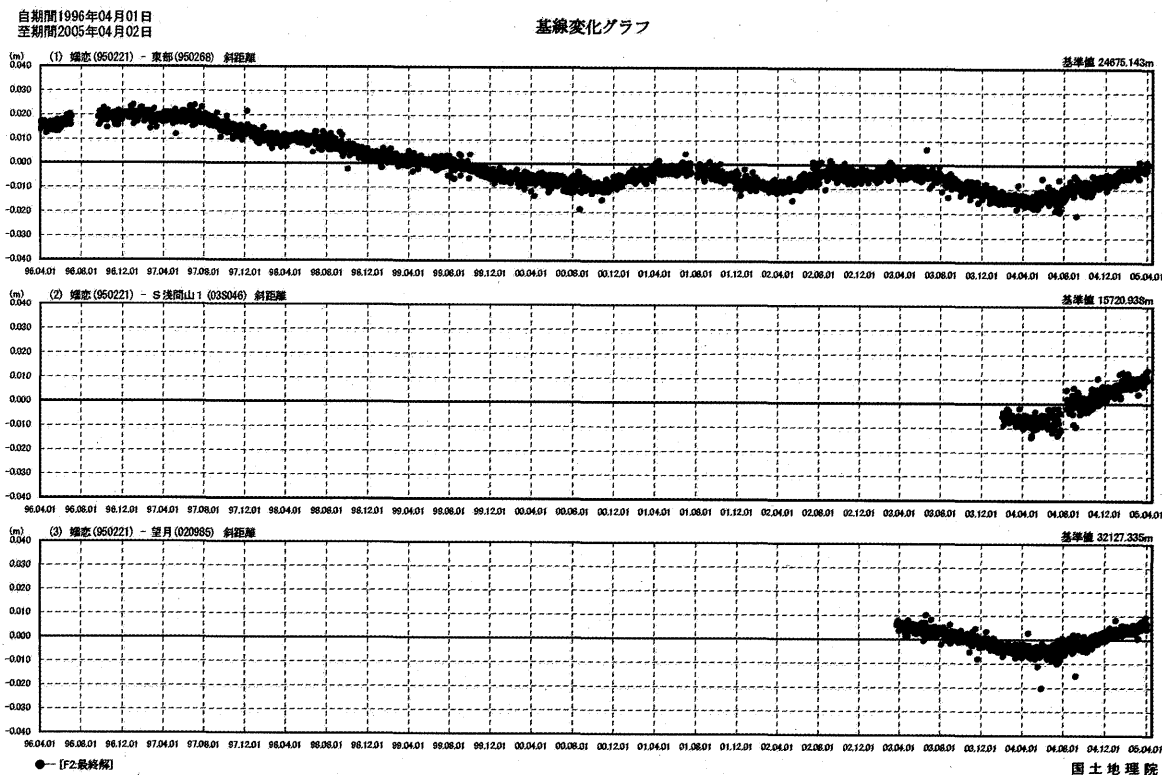
固定局：長野(950267)



Lat=36.41 Lon=138.49 D=2.1km L=2.8km W=5.0km Strike=285deg Dip=87deg Open=0.1m

第1図 浅間山ダイクモデル(2004/11-2005/4)

Fig.1 Dike Intrusion Model for the Inflation of Asama Volcano during November 2004 to April 2005.



第2図 浅間山周辺GPS連続観測結果(1996年4月~2005年4月)

Fig.2 Crustal Deformations around Asama Volcano Derived from Continuous Measurements of GPS from April 1996 to April 2005.